



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 18 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2015 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、今回、直近の調査期間である 18 年次(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)における使用実態のデータを加え、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いです。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2015 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック PMS 株式会社(CRO: 調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

18 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2015 年 3 月)

目次

調査対象薬剤	1
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
調査対象全症例における生存率	5
・ HRD 共同調査生存率	
全症例のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における生存率	6
・ HRD 共同調査生存率	
カプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率	
カプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時期別生存率	7
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	8
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	9
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)	10
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	

調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡).....11

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率.....12

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率.....13

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数.....14

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

2012 年度から 2014 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ).....15

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2015 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
ゾラフィド錠 300mg	ダラナビル (DRV)	2007 年 11 月 ~ 2017 年 11 月
ゾラフィド錠 400mg	ダラナビル (DRV)	2009 年 8 月 ~ 2017 年 11 月
ラテナビル錠 400mg	ラテナビル (RAL)	2008 年 6 月 ~ 2018 年 6 月
ゾラフィド錠 150mg	ゾラフィド	2008 年 7 月 ~ 2018 年 7 月
ラテナビル錠 100mg	ラテナビル (ETR)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
ラテナビル錠 150mg	ラテナビル (MVC)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
ラテナビル内用懸濁液 15%	ラテナビル	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
ラテナビル錠 25mg	ラテナビル (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
ラテナビル配合錠	ラテナビル/コビシostat/エムトリシタビン /テノホビル シソフ ロキシルマール酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月
ゾラフィド錠 800mg	ダラナビル (DRV)	2013 年 7 月 ~ 2017 年 11 月
ラテナビル錠 50mg	ラテナビル (DTG)	2014 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
ラテナビル配合錠	ラテナビル/テノホビル・シソフ ロキシルマール酸塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月 ~ 2022 年 5 月
ゾラフィド錠 600mg	ダラナビル (DRV)	2014 年 12 月 ~ 2017 年 11 月
ラテナビル配合錠	ラテナビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月 ~ 2024 年 3 月

(参考:2015年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

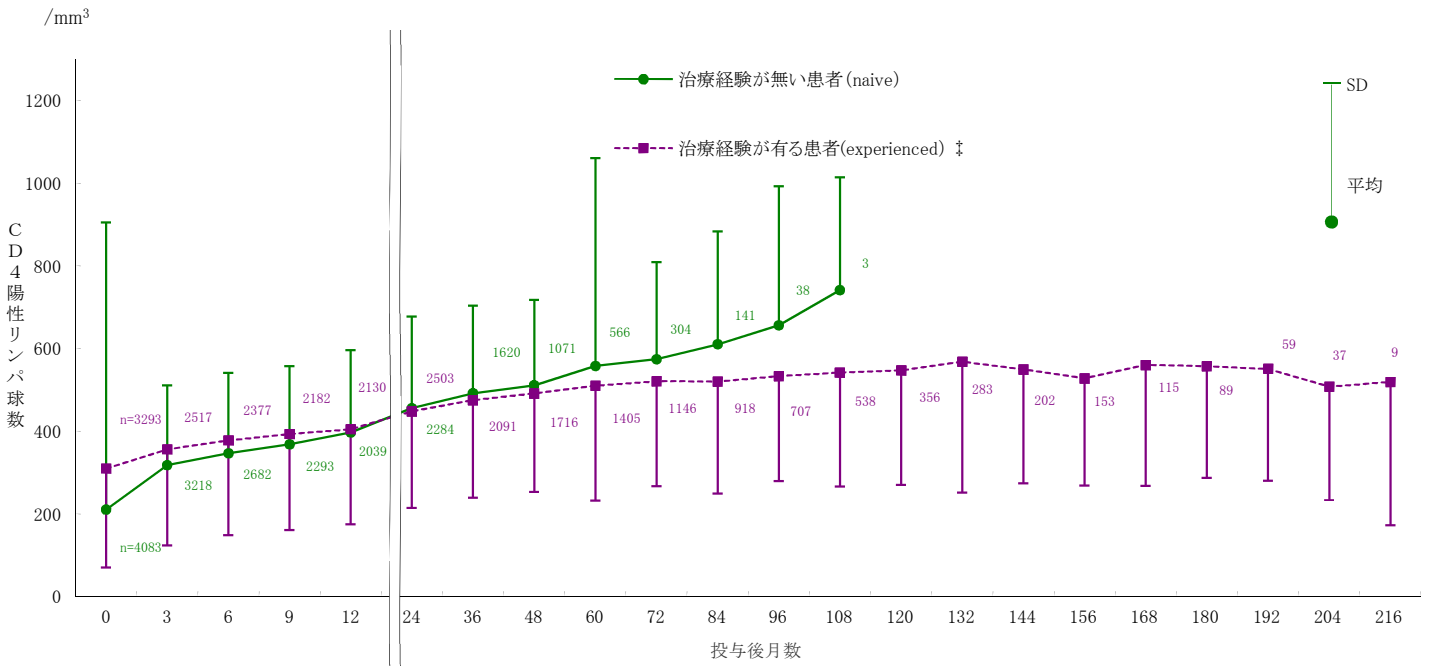
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビテル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997年2月 ~ 2007年2月
コンビテル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999年6月 ~ 2007年2月
クリキハソカプセル	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997年3月 ~ 2007年3月
点滴静注用ホスカルビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月 ~ 2007年3月
ゼリットカプセル	サニルブジン (d4T)	1997年7月 ~ 2007年7月
テノシカプセル ^{※1}	ガンシクロビル	1997年7月 ~ 2007年7月
インビラーゼカプセル	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997年9月 ~ 2007年9月
ノービア内用液・ソフトカプセル ^{※1}	リトナビル (RTV)	1997年11月 ~ 2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩 (NFV)	1998年3月 ~ 2008年3月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
クラリッド錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998年11月 ~ 2008年11月
ザイジン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999年9月 ~ 2009年9月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999年9月 ~ 2009年9月
カレラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000年12月 ~ 2010年12月
エゾギム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004年12月 ~ 2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001年12月 ~ 2011年12月
カレラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011年4月 ~ 2013年3月 ^{※2}
レイアタツカプセル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003年12月 ~ 2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (TDF)	2004年3月 ~ 2014年3月
バリキサ錠 450mg	バルガンシクロビル塩酸塩	2004年11月 ~ 2014年11月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004年12月 ~ 2014年12月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005年3月 ~ 2015年3月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (FTC/TDF)	2005年3月 ~ 2015年3月

※1:テノシカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておりません。

※2:カレラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

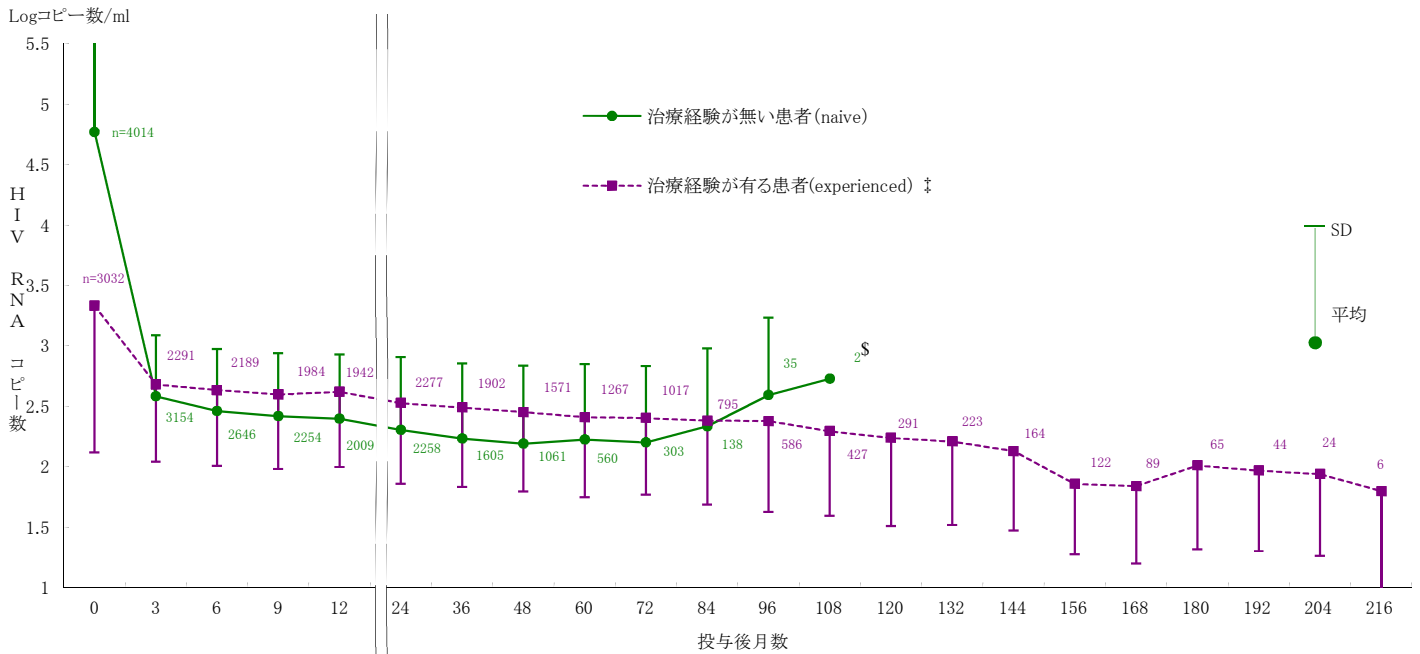
調査対象全症例における治療開始後のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

治療開始後のCD4数の推移[†]
(調査期間:調査開始から2015年3月) (n=7376)



[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

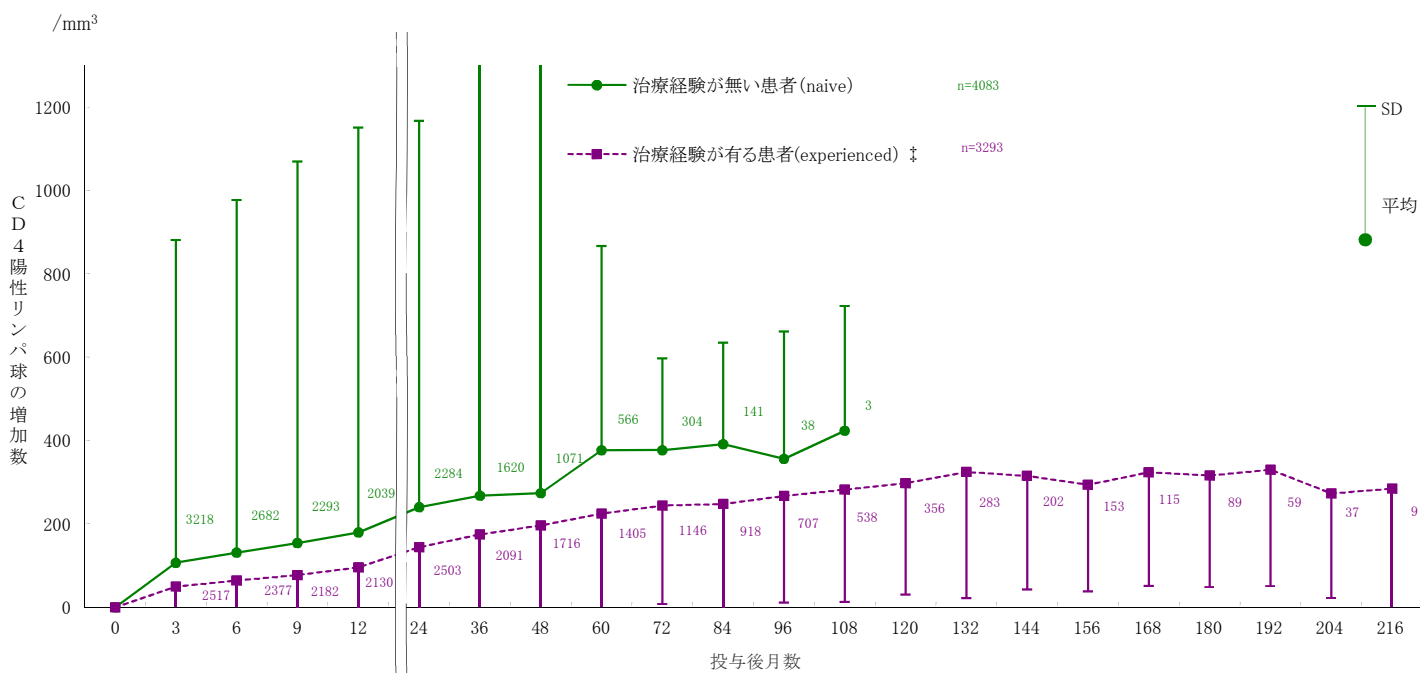
治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]
(調査期間:調査開始から2015年3月) (n=7046)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。
治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
[§] Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

治療開始後のCD4増加数の推移[†]

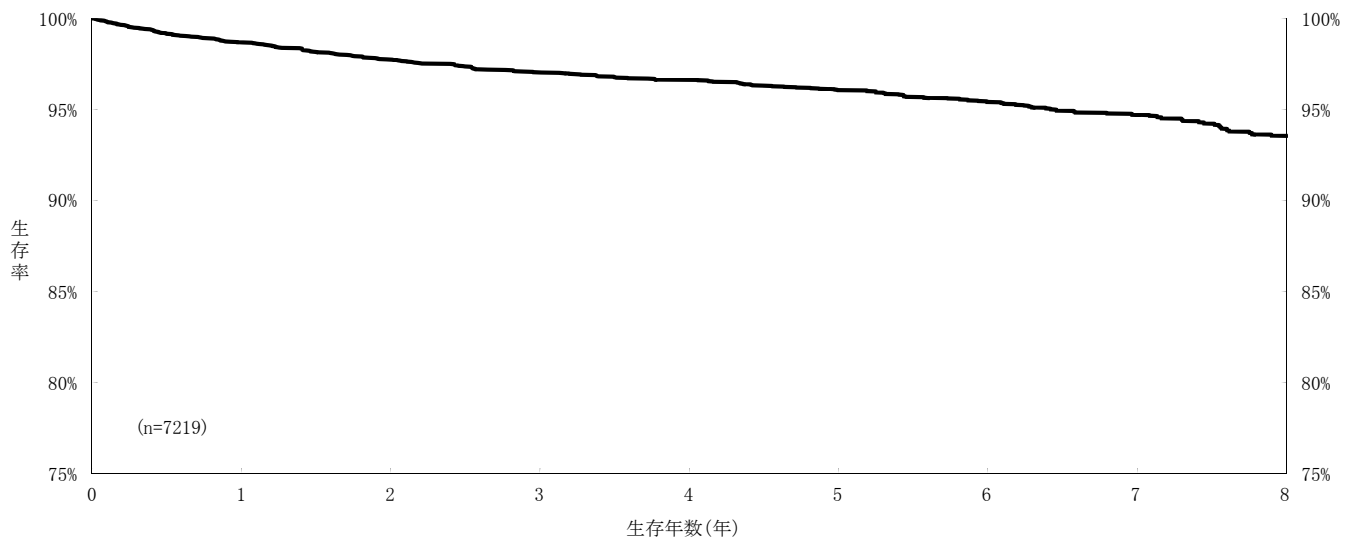
(調査期間: 調査開始から2015年3月) (n=7376)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

調査対象全症例における生存率

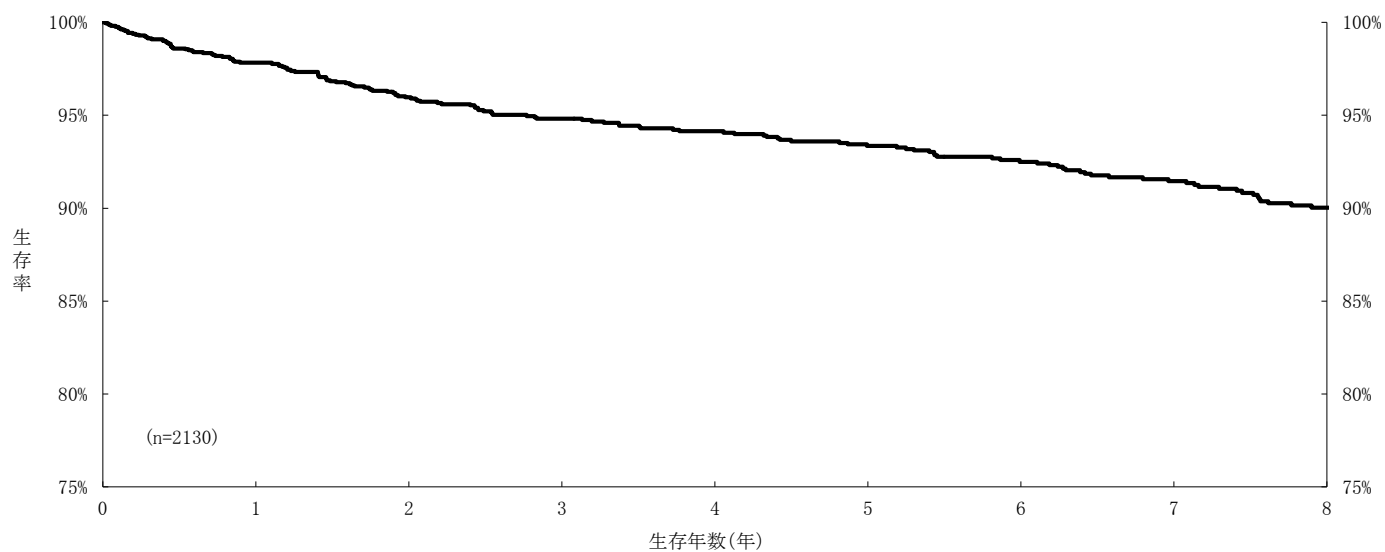
HRD共同調査生存率
全症例のカプランマイヤー法による生存率
(調査開始から2015年3月)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
生存者数	7219	6095	5134	4268	3446	2573	1967	1498	1127	855	559	428	304	236	179	140	86	46	11

9年以降は生存者数のみの表記とした。

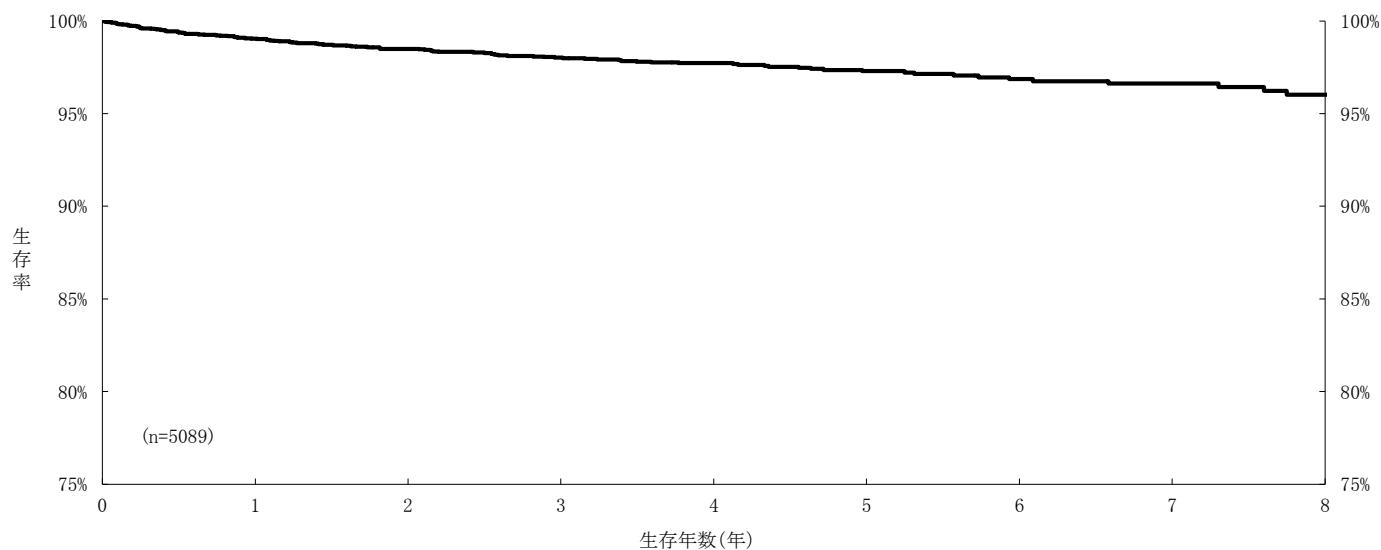
HRD共同調査生存率
 カプランマイヤー法による生存率
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
生存者数	2130	1836	1594	1335	1223	1149	1036	901	736	566	397	335	268	222	179	140	86	46	11

9年以降は生存者数のみの表記とした.

HRD共同調査生存率
 カプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)

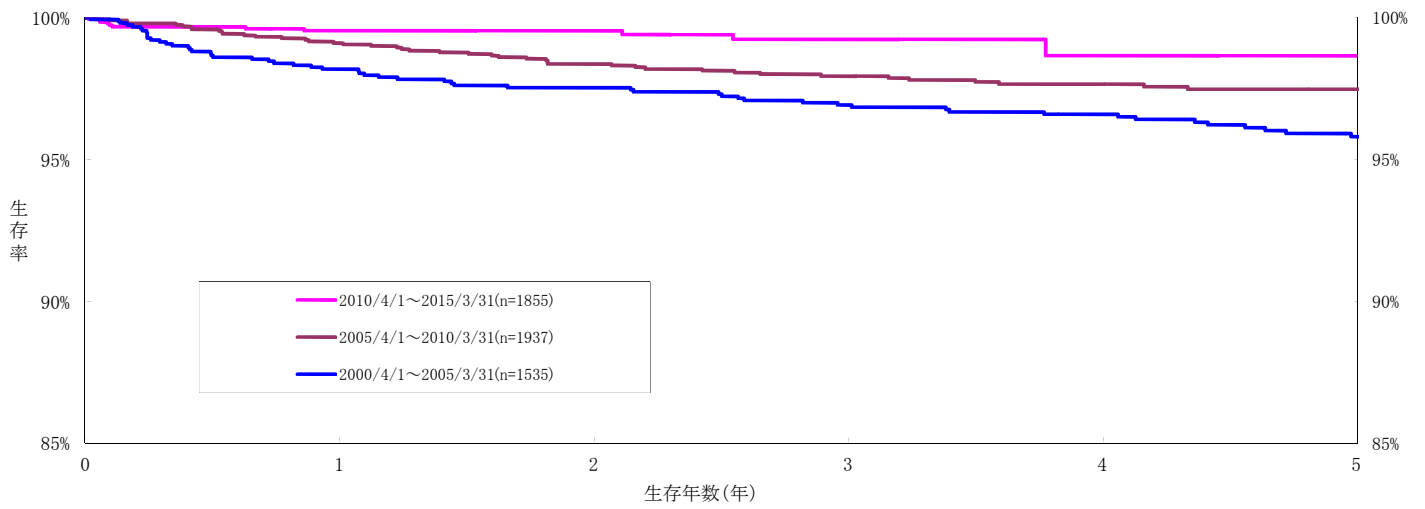


生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)
生存者数	5089	4259	3540	2933	2223	1424	931	597	391	289	162	93	36	14	0

9年以降は生存者数のみの表記とした.

調査対象全症例における治療開始時期別生存率

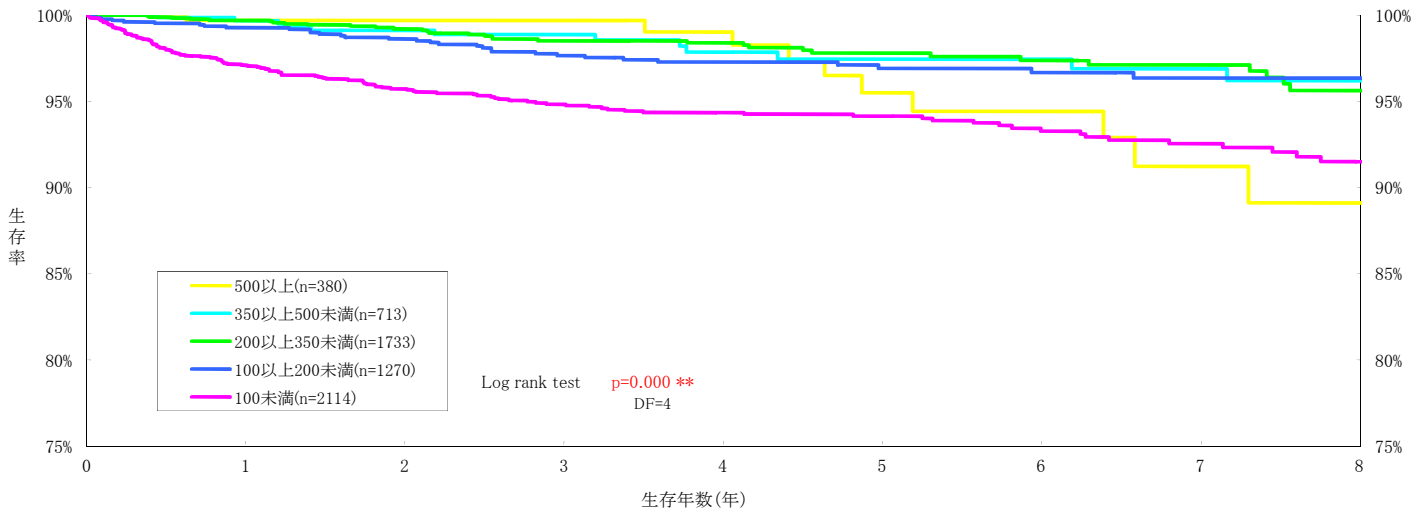
HRD共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2000年4月1日から2015年3月31日の期間に治療開始した症例)



	生存年数	平均年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年
治療開始時期別の 生存者数	2000/4/1~2005/3/31	39.38	1535	1389	1296	1229	1094	838
	2005/4/1~2010/3/31	39.92	1937	1817	1661	1494	1192	746
	2010/4/1~2015/3/31	38.94	1855	1272	786	403	118	-

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:調査開始から2015年3月)



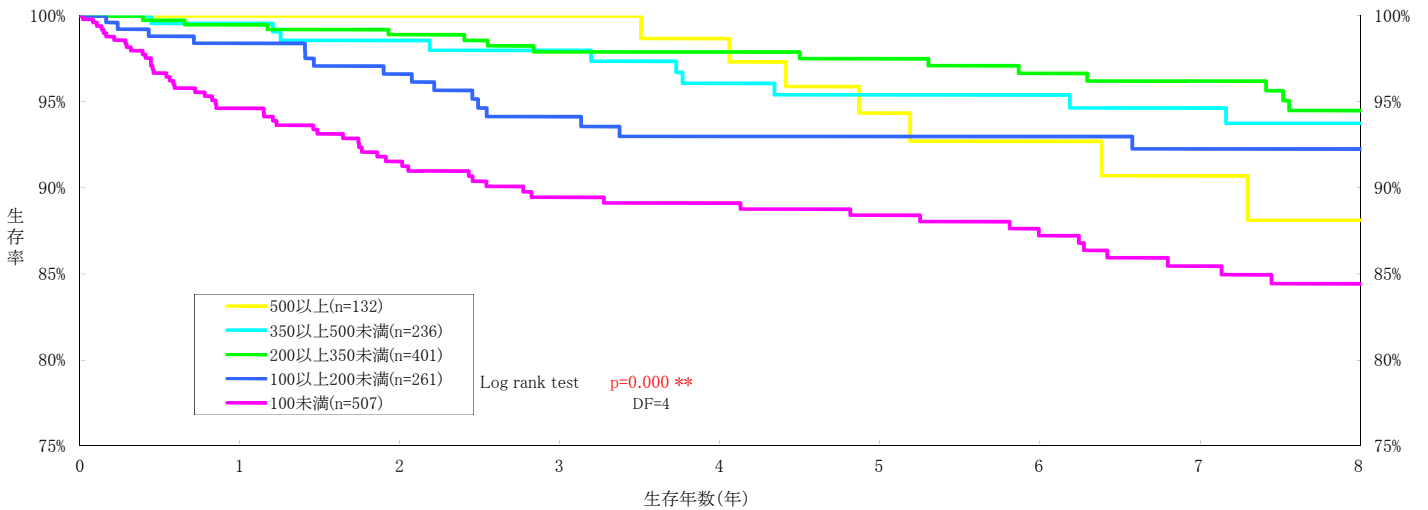
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.906
350未満 vs 350以上	p=0.058
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<100	2114	1742	1475	1254	1054	784	572	417	286	206	143	104	76	55	35	25	15	7	1
<200	1270	1115	984	855	694	500	369	265	193	147	95	73	48	39	30	26	14	7	2	
<350	1733	1504	1258	1005	763	532	403	298	221	169	108	84	59	46	38	34	20	13	3	
<500	713	555	425	332	263	208	178	145	119	83	61	47	30	22	20	14	5	4	0	
500≤	380	283	208	168	129	90	69	46	35	25	16	10	6	6	5	4	3	1	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



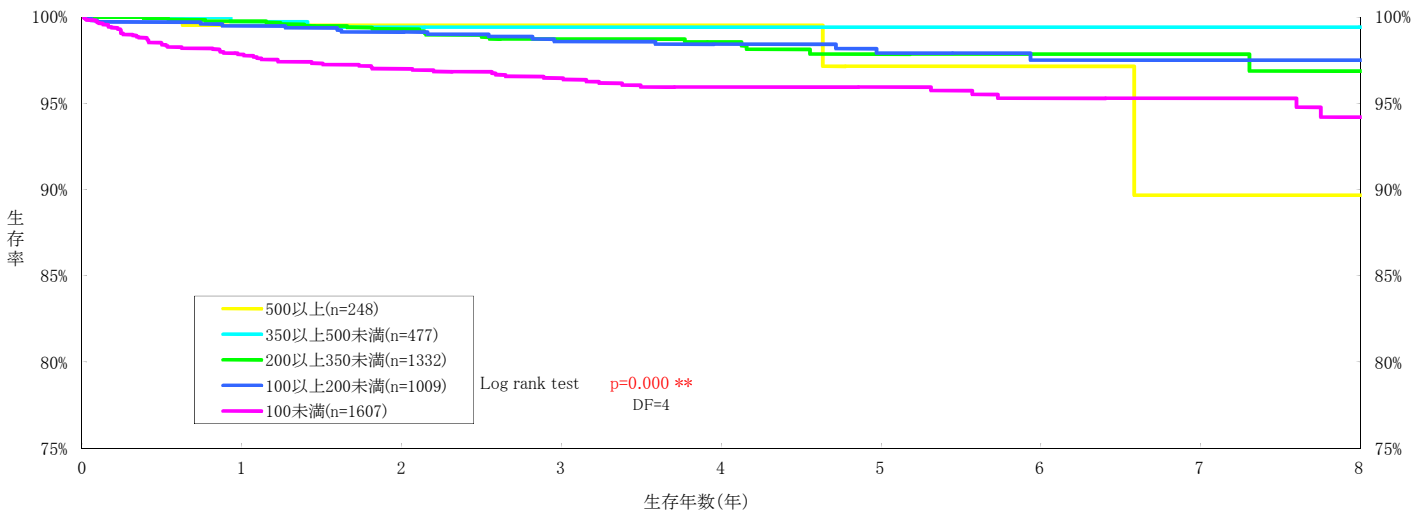
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.638
350未満 vs 350以上	p=0.070
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	58	50	35	25	15	7	1
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	36	30	26	14	7	2	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	38	34	20	13	3	
<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	14	5	4	0	
500 ≤	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	5	4	3	1	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

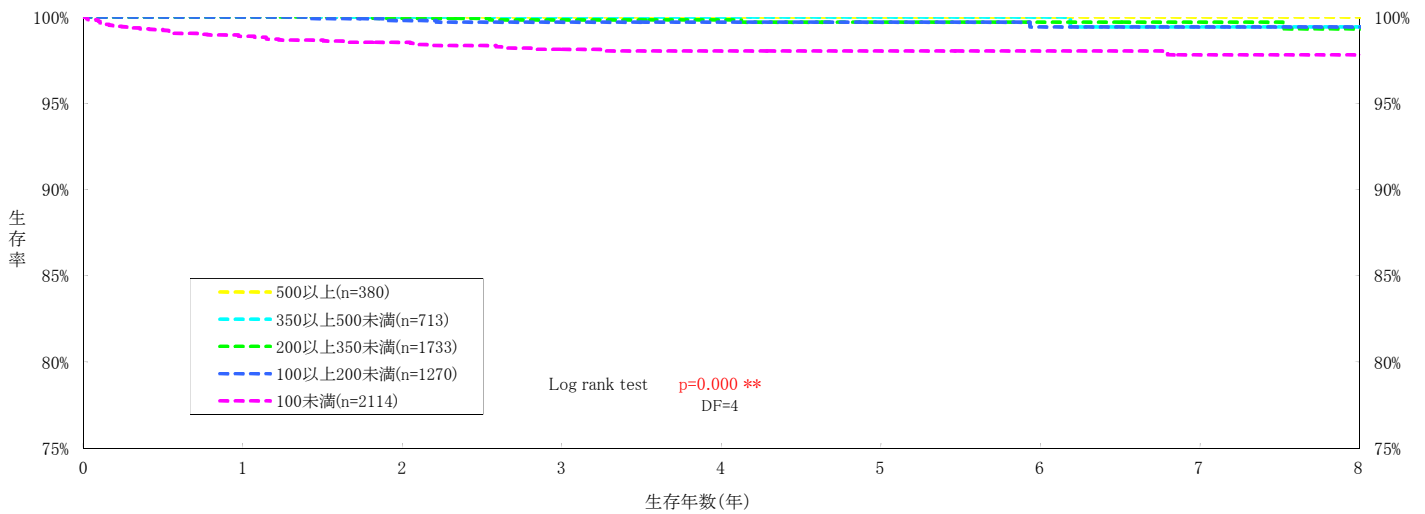
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.606
350未満 vs 350以上	p=0.025 *
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)
	<100	1607	1347	1145	978	797	537	361	242	143	104	63	37	18	5	0
<200	1009	880	778	687	538	356	235	140	93	64	33	18	5	3	0	
<350	1332	1142	934	729	509	292	180	109	75	56	32	20	6	3	0	
<500	477	347	248	179	117	70	50	36	26	21	13	7	3	0	0	
500 ≤	248	171	111	87	57	30	17	9	6	6	4	1	0	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:調査開始から2015年3月)



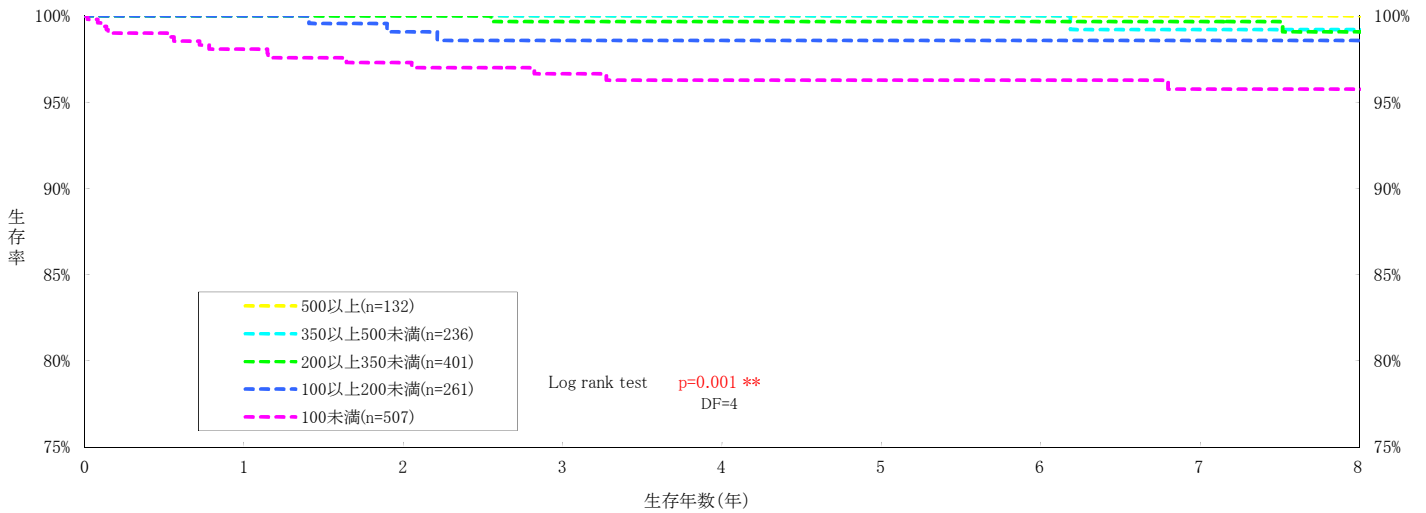
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.110
350未満 vs 350以上	p=0.011 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の 生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<100	2114	1742	1475	1254	1054	784	572	417	286	206	143	104	76	55	35	25	15	7	1
<200	1270	1115	984	855	694	500	369	265	193	147	95	73	48	39	30	26	14	7	2	
<350	1733	1504	1258	1005	763	532	403	298	221	169	108	84	59	46	38	34	20	13	3	
<500	713	555	425	332	263	208	178	145	119	83	61	47	30	22	20	14	5	4	0	
500≤	380	283	208	168	129	90	69	46	35	25	16	10	6	6	5	4	3	1	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



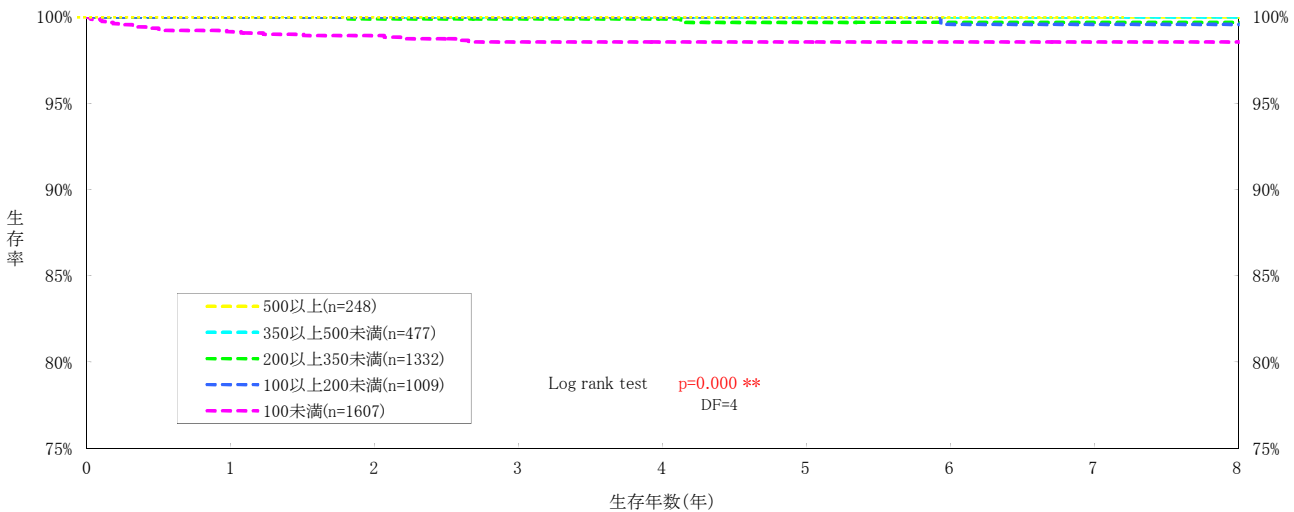
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.160
350未満 vs 350以上	p=0.032 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	58	50	35	25	15	7	1
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	36	30	26	14	7	2	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	38	34	20	13	3	
<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	14	5	4	0	
500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	5	4	3	1	1	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

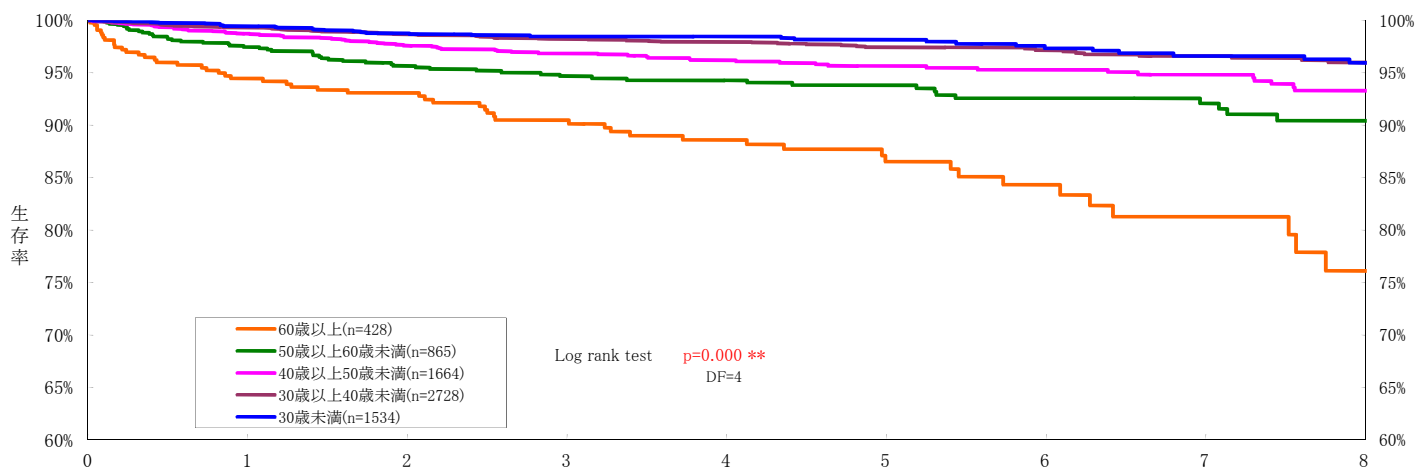
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.304
350未満 vs 350以上	p=0.060
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)
	<100	1607	1347	1145	978	797	537	361	242	143	104	63	37	18	5	0
<200	1009	880	778	687	538	356	235	140	93	64	33	18	5	3	0	
<350	1332	1142	934	729	509	292	180	109	75	56	32	20	6	3	0	
<500	477	347	248	179	117	70	50	36	26	21	13	7	3	0	0	
500≦	248	171	111	87	57	30	17	9	6	6	4	1	0	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率

HRD共同調査生存率
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間: 調査開始から2015年3月)



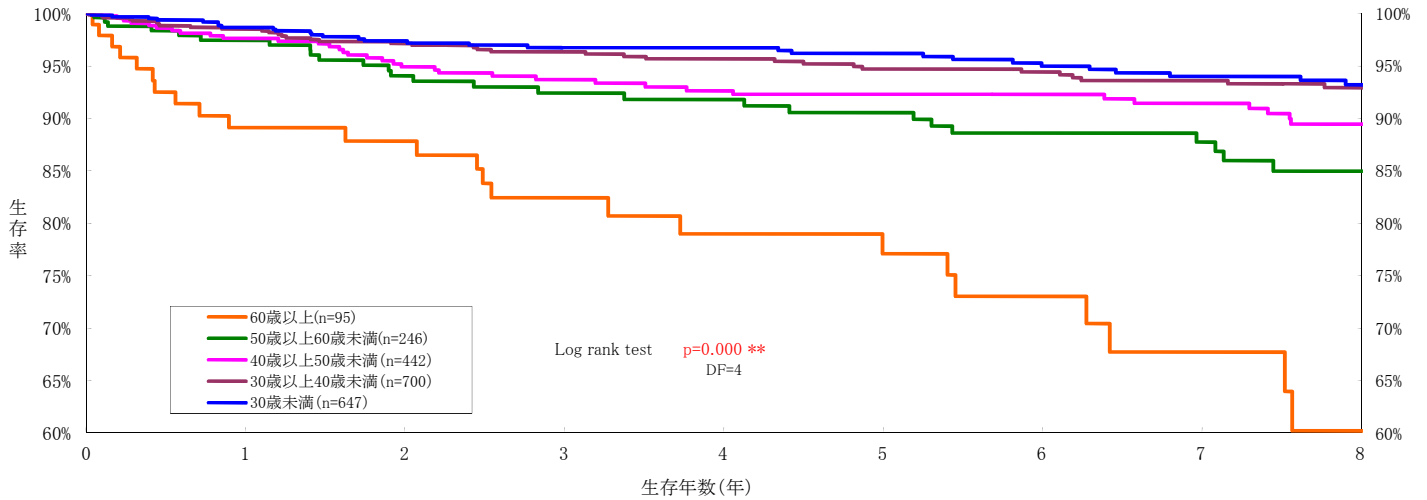
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法)の構成比などによる影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<30	1534	1270	1071	864	691	549	446	358	285	219	150	118	83	69	58	48	31	22	8
<40	2728	2330	1980	1657	1326	963	731	546	409	309	197	153	115	93	72	58	40	17	3	
<50	1664	1395	1151	969	789	593	462	351	260	204	130	99	63	42	29	23	10	5	0	
<60	865	740	634	524	434	323	238	185	134	94	64	47	38	29	17	9	3	2	0	
60 ≤	428	360	298	254	206	145	90	58	39	29	18	11	5	3	3	2	2	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



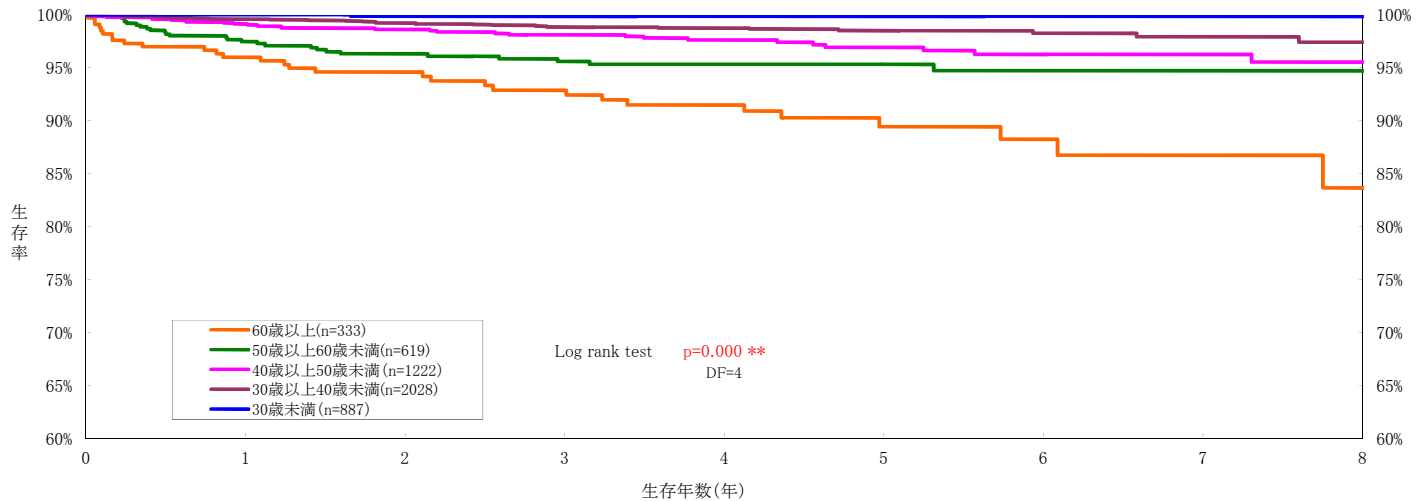
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.005 **

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)
	<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	48	31	22	8
<40	700	601	522	445	407	381	347	303	246	190	141	121	105	87	72	58	40	17	3	
<50	442	387	332	278	260	253	231	201	167	127	84	71	53	40	29	23	10	5	0	
<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	17	9	3	2	0	
60≤	95	76	67	52	44	41	29	22	16	13	8	7	3	3	3	2	2	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

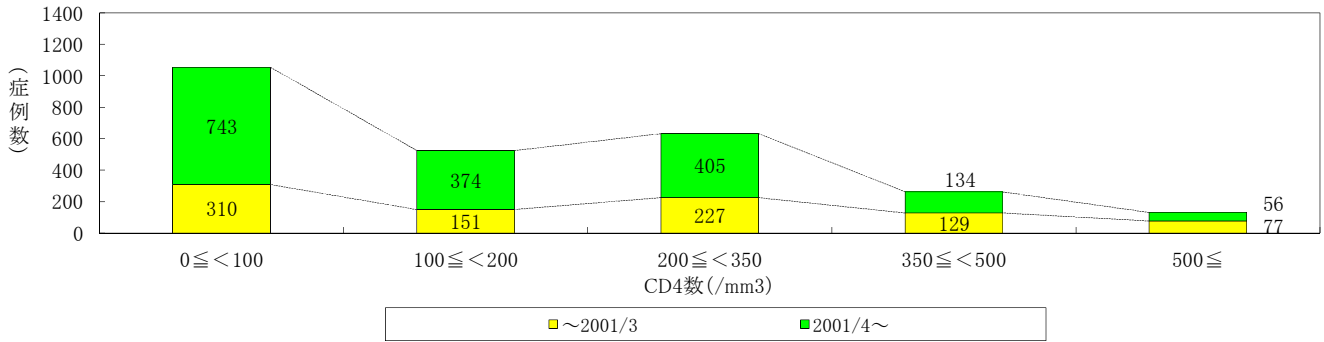
年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)
	<30	887	707	581	459	329	216	142	85	55	42	29	18	8	5	0
<40	2028	1729	1458	1212	919	582	384	243	163	119	56	32	10	6	0	
<50	1222	1008	819	691	529	340	231	150	93	77	46	28	10	2	0	
<60	619	531	451	369	284	182	113	83	57	35	21	11	6	1	0	
60≤	333	284	231	202	162	104	61	36	23	16	10	4	2	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数

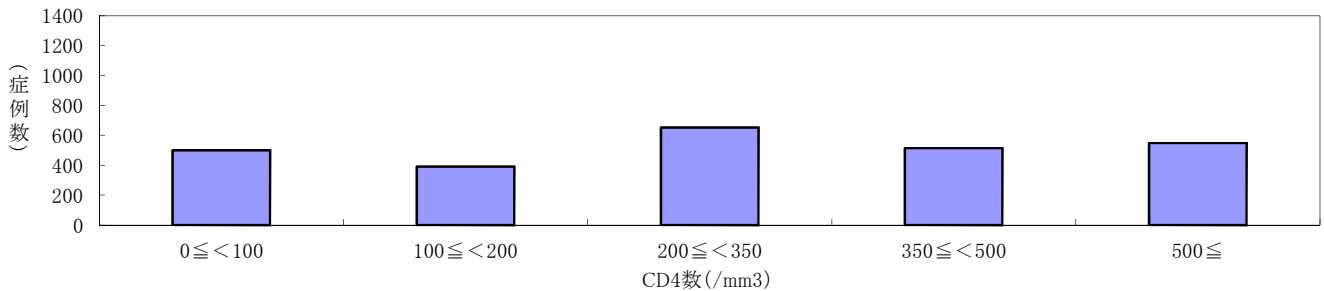
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数

(調査期間: 調査開始から2015年3月) (n=2606)



併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間: 調査開始から2015年3月) (n=2606)



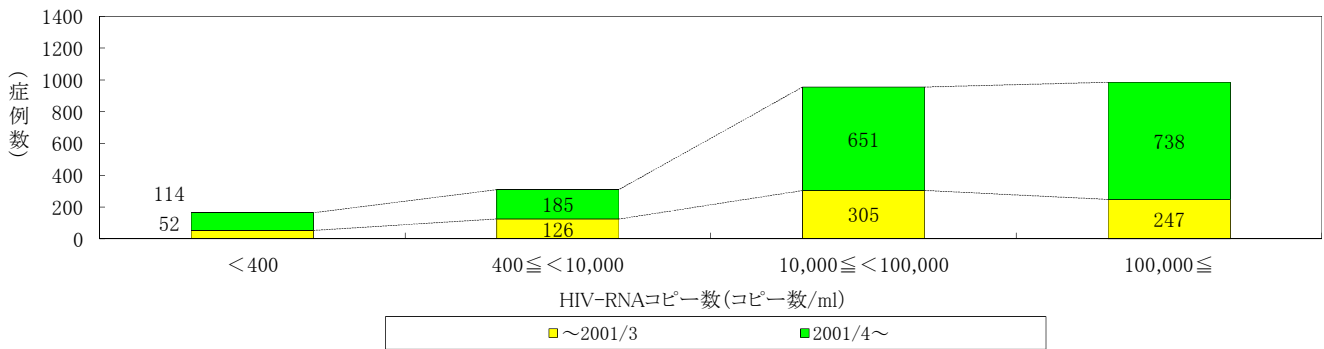
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

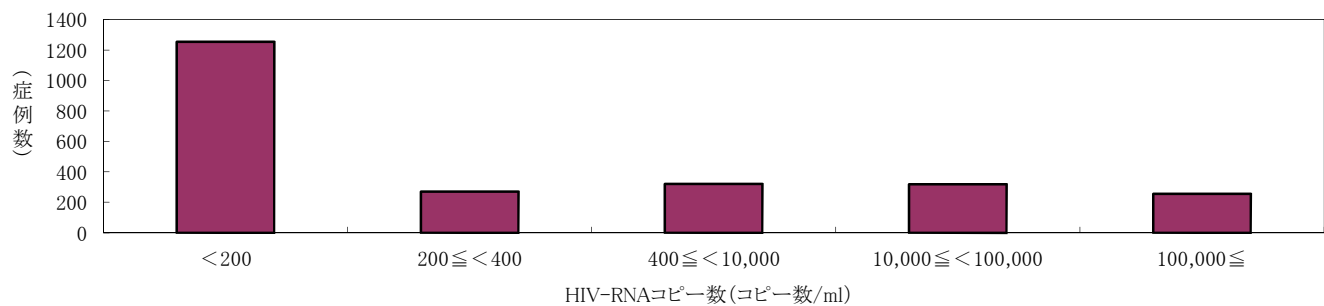
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2015年3月) (n=2418)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2015年3月) (n=2418)



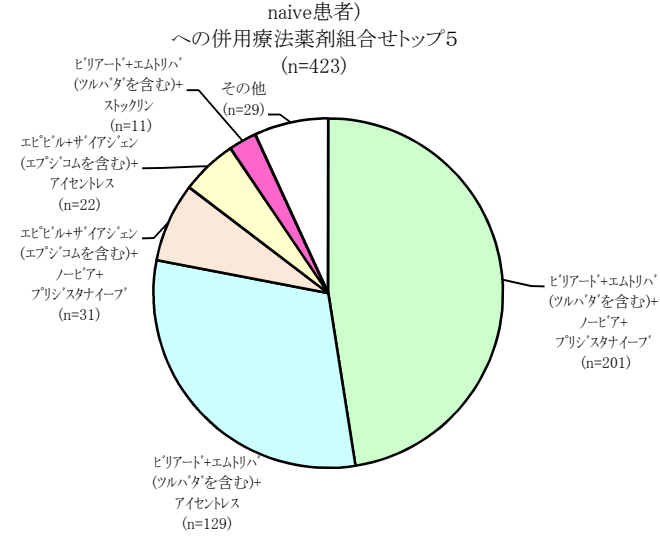
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

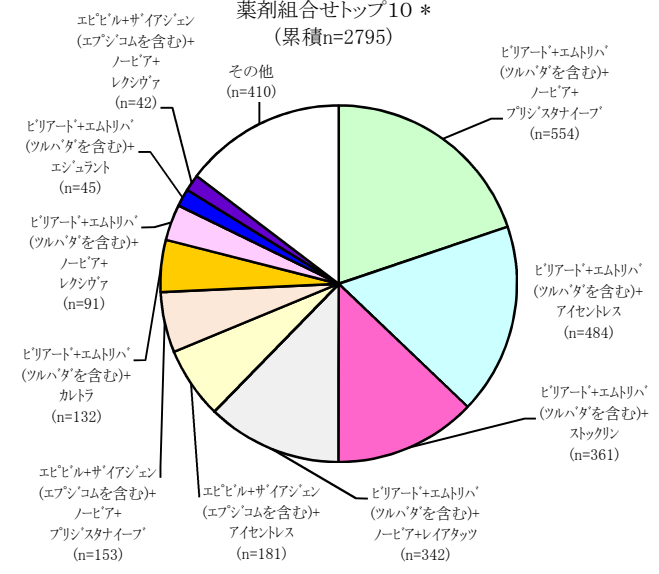
- 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

2012年度(2012年4月から2013年3月まで)から2014年度(2014年4月から2015年3月まで)に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)

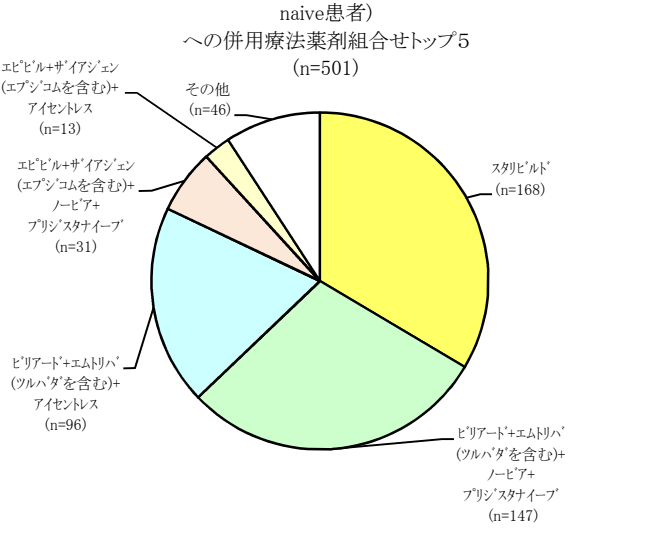
2012年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者):



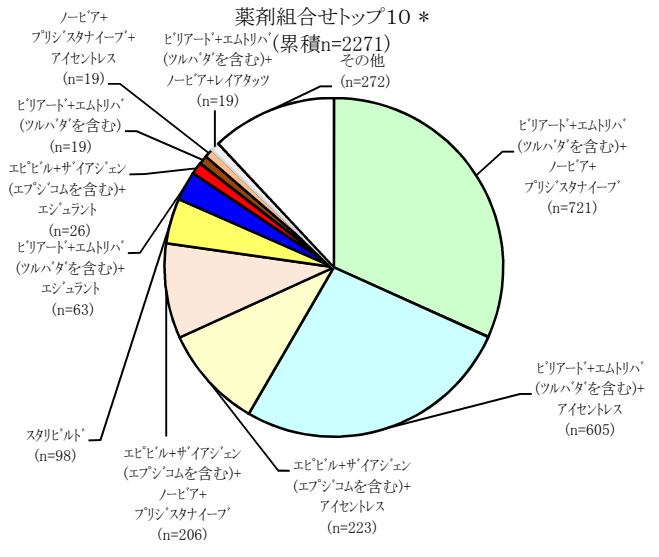
2012年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法



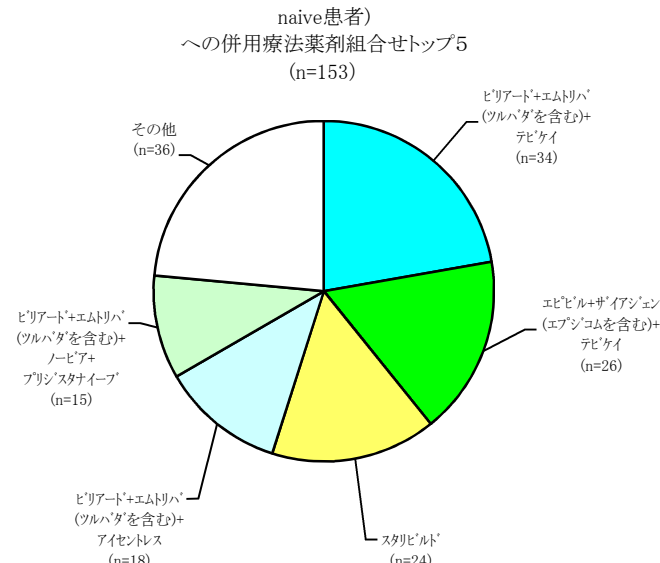
2013年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者):



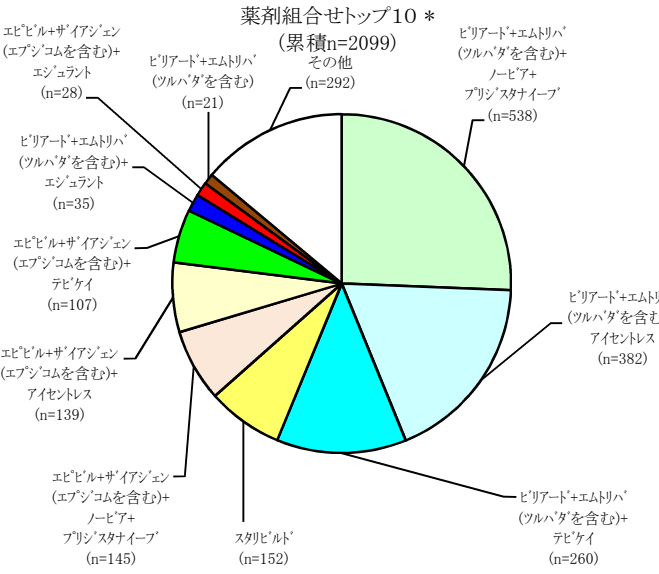
2013年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法



2014年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者):



2014年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2012年度から2014年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>